

保育所等の令和4年4月1日現在の待機児童数について

1 要旨・目的

保育所等の令和4年4月1日現在の待機児童数について、報告する。

2 現状・背景

県内において継続して発生している待機児童の解消のため、市町と連携して保育の受け皿の拡大を図るとともに、保育士人材バンク等による保育士の確保を積極的に進めており、待機児童数は減少している。

3 概要

(1) 調査対象

県内全市町（23市町）

(2) 調査期間

令和4年4月1日現在

(3) 調査結果

前年度4月の待機児童数より6人減少し、8人（指定都市・中核市を除く県所管分については、2年連続で0人）となった。

区分		H30. 4. 1	H31. 4. 1	R2. 4. 1	R3. 4. 1	R4. 4. 1
待機児童数 (前年増減)		207人 (+21人)	128人 (△79人)	39人 (△89人)	14人 (△25人)	<u>8人</u> (△6人)
年齢区分	0歳	12人	12人	2人	0人	0人
	1・2歳	134人	105人	35人	11人	8人
	3歳	54人	10人	2人	3人	0人
	4歳以上	7人	1人	0人	0人	0人
発生市町		5市町	6市町	3市	2市	2市
		東広島市 118人 広島市 63人 尾道市 24人 安芸高田市 1人 府中町 1人	廿日市市 38人 広島市 36人 東広島市 36人 福山市 10人 三原市 4人 府中町 4人	広島市 33人 福山市 5人 三原市 1人	広島市 11人 福山市 3人	広島市 5人 福山市 3人
定員数※		70,607人	72,990人	73,888人	74,461人	74,742人
入所児童数※		63,301人	64,070人	64,731人	64,365人	63,809人

※定員数、入所児童数には、特定教育保育施設（保育所、認定こども園）のほか、特定地域型保育事業（小規模保育事業等）、企業主導型保育等を含む

(4) 原因

広島市	一部の地域において、1、2歳児の保育ニーズが想定以上にあったことや、保育ニーズの多様化により、待機児童が発生。
福山市	一部の地域において、1歳児の保育ニーズが想定以上にあったことや、保育ニーズの多様化により、待機児童が発生。

(5) 今後の対応

広島市	改修整備による受け皿の充実とともに、保育コンシェルジュによるきめ細かな情報提供や、保育士確保に向けた保育士の相談窓口の設置を進めるなど、ハード・ソフトの両面から総合的に取り組む。
福山市	保育人材の確保に積極的に取り組むとともに、保育ニーズや地域の状況等を踏まえた教育・保育施設の再整備により受け皿の充実を図っていく。